令和２年度版「いしかわスタイル家庭学習」の手引

1　どんな学習に取り組めばいいの？

＜わくわくメニュー（わ）＞

自分が学びたい課題に自由に取り組みます。教科の予習・復習をやってもよい。

（例）・日記（先生あのね）　・日記（見つけたよ）　・生き物観察　・交通標識みつけ　・音楽記号調べ　・恐竜図鑑調べ
・工場のひみつ調べ　・キャラクターづくり　・ことわざ調べ　・四字熟語調べ　・数の不思議　・都道府県調べ
・世界の国旗調べ　・新聞記事へのコメント　・英語調べ　・料理レシピ　・不思議に思ったこと　・読書と感想
・おすすめの本紹介　・物語作り　・説明書づくり　・歴史上の人物調べ　・スイーツ調べ　・作曲　・プログラミング

＜がっちりメニュー（が）＞

自分の計画で学校の教科に取り組みます。漢字・計算の練習，予習・復習，苦手なものに取り組みましょう。

＜しゅくだい　　（し）＞

先生から課題（学年×１０分程度）を出します。必ず取り組んでください。

2　低・中・高でのやり方は？

＜低学年＞…家庭学習の習慣を確立する時期

＜しゅくだい＞が中心，少しずつ**＜がっちり＞**が増えます。

＜中学年＞…自分で計画を立てられるようにする時期

週１～２回は，＜しゅくだい＞。それ以外は，自分でバランスを考えて，**＜わくわく＞**と**＜がっちり＞**に取り組みます。

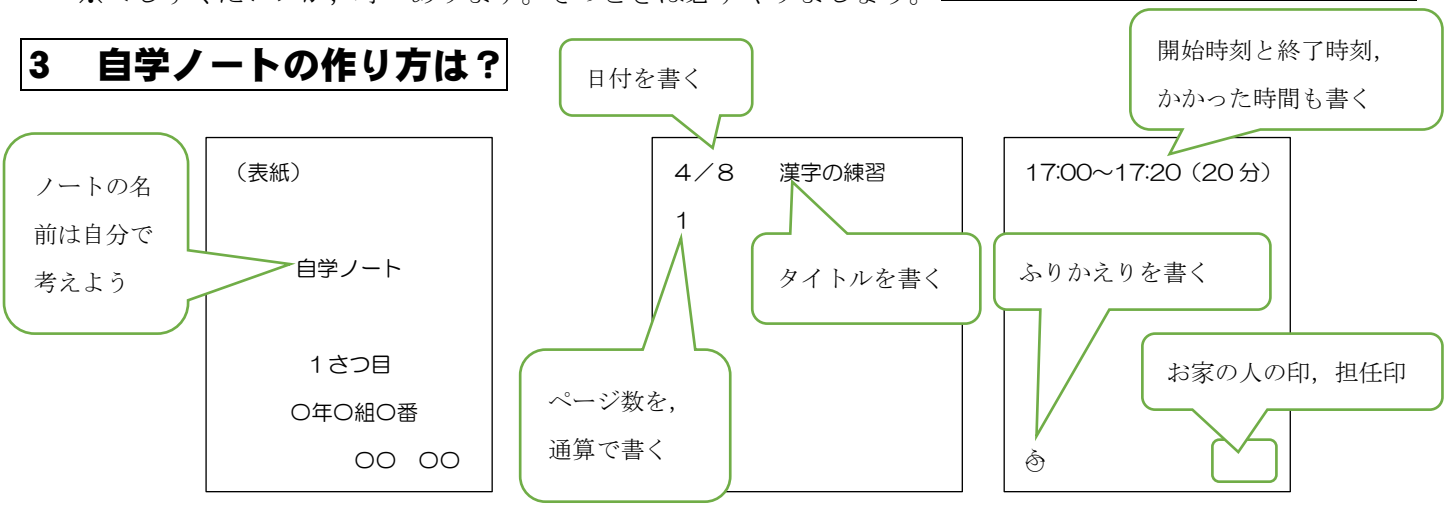
＜高学年＞…自分の学びに没頭する時期

＜わくわく＞と＜がっちり＞を，自分の計画で進めていく。

※＜しゅくだい＞が，時々あります。そのときは必ずやりましょう。

	（例）１学期				
	月	火	水	木	金
１年	し	し	し	し	し
２年	し	し	が	し	が
３年	し	し	が	わ	が
４年	し	わ	が	わ	が
５年	＜わ・が＞を自分の計画で				
６年	＜わ・が＞を自分の計画で				

3　自学ノートの作り方は？



・家庭学習にかける時間は，**学年×１０分**を目安とします。ページ数にはこだわりません。

・お家で用意した問題集などに取り組むときは，コピーしたものをノートに貼らなくても良い。やった内容やふりかえりを書いて，お家の人から印をもらって提出すれば良い。

・学習塾や各種教室（スイミング，サッカー，プログラミング等）での学びも，自主学習としてカウントします。ノートにやった内容やふりかえりを書いて，お家の人から印をもらって提出すれば良いこととします。

・体調の悪いときなどは無理をしない。ノートに一行でもよいし，やれない理由を書いて提出すればよい。

・担任の確認は，原則として押印やサイン，またはシール。